

5 障害のある子どもや外国人の子どもなどの読書活動の推進

子どもと保護者への取り組みの充実

図書館の利用が困難であったり、身近に母国語の本が少ないなど、障害のある子どもや外国人の子どもとその保護者にとっては、身近に本を手にとったり、おはなしを楽しむ機会が必要です。第1期実施計画において、障害のある子どもや外国人の子どもを取り巻く読書環境整備のために様々な事業が進められましたが、引き続き取り組む必要があります。すべての子どもが豊かな読書を体験するために、市立図書館をはじめ関係施設やボランティアが連携・協力していきます。

	対象				事業名	関係部局・団体	区分	事業内容
94	乳幼児	小中学生	15才以上	大人	読書活動	刀根山支援学校 しいの美学園 あゆみ学園 豊中支援学校	継続	保育や教育の場で子どもの状況に応じて、日常的に絵本の読み聞かせや子どもと本をつなぐ取り組みを行う。
95					「おやこでにほんご」	〇おやこでにほんごとよなか国際交流協会 市立図書館	継続	地域に暮らす外国人親子が安心して参加できる親子参加型日本語教室を図書館で継続して行うことで、外国人親子の読書推進、母語継承の問題など、地域課題のひとつであるマイノリティ住民の抱える問題解決につながる事業としていく。
96					市立図書館における多文化サービスの充実	市立図書館市民団体（地球ママくらぶなど） とよなか国際交流協会	継続	外国人市民が図書館を利用するきっかけとなる事業や、地域の多文化共生を推進するための事業を図書館、とよなか国際交流協会、市民ボランティア等が連携して行う。
97					「おはなし会がやってきた！」	市立図書館	継続	子ども文庫やおはなしグループに依頼し、日頃図書館を利用しにくい子どもたちに出前のおはなし会を行う。 [55、131にも掲載しています]
98					子ども文庫での活動	〇豊中子ども文庫連絡会 市立図書館 とよなか国際交流協会	継続	子ども文庫が地域の中で本に会える場であるということをPRし、障害のある子どもや外国人の子どもも絵本やおはなしを楽しめる場となるよう、図書館やとよなか国際交流協会などと連携して活動する。
99					絵本講座の開催	市立図書館	継続	絵本の講座やおはなし会の中で保護者に子どもの読書の楽しさや大切さを伝える取り組みを行う。 [6、127をご参照ください]
100					絵本講座の開催	とよなか国際交流協会	継続	外国人保護者に子どもの読書の楽しさや大切さを伝える取り組みを行う。
101					図書館見学会の実施および保護者への図書館利用の案内	〇市立図書館 通園施設	継続	通園施設や支援学校の子どもと保護者に対して図書館見学会を行う。またその際に障害のある子どもの保護者や障害のある保護者が子どもと一緒に図書館を利用しやすいように、利用の方法など図書館のサービスについて詳しく案内し、同時に保護者の声を聞く機会を定期的を持つ。

	対象	事業名	関係部局・団体	区分	事業内容
102		図書館見学会	〇市立図書館 とよなか国際交流協会 市民団体 (地球ママくらぶなど)	継続	外国人の子どもや保護者、その支援に関わる協力者に対して図書館見学会を行う。
103		動く図書館による施設サービスの充実	市立図書館	継続	動く図書館が通園施設や支援学校、保育所を巡回して、子どもや教職員が直接選んだ本を貸出しする。動く図書館の巡回について、教職員や保護者の意見に対応し、各施設の読書環境の整備を支援する。
104		小児科病棟でのおはなし会の実施	〇おはなしたまてばこ 市立豊中病院 市立図書館	継続	市立豊中病院とおはなしボランティア(おはなしたまてばこ)、市立図書館が連携し、小児科病棟でのおはなし会を行う。
105		「図書館へようこそ」の周知	市立図書館	継続	「図書館へようこそ」(バリアフリー宣言)を周知するとともに、ハード、ソフトの両面について、図書館利用の障害を無くよう取り組む。 [121にも掲載しています]

子どもの本や読書に関する情報提供

障害のある子どもや外国人の子どもと保護者に対して、子どもの読書や図書館に関する情報をよりきめ細かく提供することが必要です。今後さらに図書館や図書館サービスのPRの充実に取組みます。また障害のある子どもにとって有効な資料の研究や収集を行い、読書に関する情報を様々なメディアを通して提供します。

	対象	事業名	関係部局・団体	区分	事業内容
106		絵本などの情報提供	市立図書館	継続	図書館のホームページやメールマガジン、ケーブルテレビなど多様なメディアで本の紹介などを行う。 [5、137にも掲載しています。]
107		図書館のPR	〇人権教育企画課 〇とよなか国際交流協会 市立図書館 市民課	継続	渡日外国人児童生徒の相談窓口、外国人登録窓口、とよなか国際交流協会などで、多言語の図書館利用案内を配布する

読書環境の整備

通園施設や支援学校での日常の保育や授業での取り組みや、市立図書館による動く図書館の巡回によって、障害のある子どもの成長の助けとなるよう、読書環境の整備が行われています。今後はさらに関係部局・団体が情報交換し、必要な資料の整備を進めます。また、外国人の子どもと保護者にとっては母国の文化を知り、親子で母語を使い続けるための母語の資料や社会生活を営む上で日本語を学ぶ資料が必要です。市立図書館やとよなか国際交流協会をはじめ関係部局・団体やボランティアが連携・協力し、資料の収集と提供に取り組めます。

	対象	事業名	関係部局・団体	区分	事業内容
108		市立図書館の外国語資料の充実	市立図書館	継続	関係団体と協力し、外国人市民の意見やニーズを把握しながら、市立図書館の外国語資料を購入や寄贈によって充実するとともに、岡町図書館の「世界のこどもの本の部屋」をより利用しやすいものにする。 [145にも掲載しています。]
109		資料の充実	刀根山支援学校 しいの実学園 あゆみ学園 豊中支援学校	継続	図書の購入や市立図書館の団体貸出、リサイクル図書や寄贈図書を利用することによって絵本などの図書資料を充実させる。 [147、148をご参照ください。]
110		資料の充実	刀根山支援学校 しいの実学園 市立図書館	継続	図書館が通園施設や支援学校の教職員とともに、施設で活用される資料の情報交換を行い、障害のある子どもにとって有効な資料を研究し、選書に反映させる。 [144にも掲載しています。]
111		外国語資料の整備	市立図書館 とよなか国際交流協会	継続	英語以外の外国語資料について、蔵書検索や利用を促進できるように研究を行う。また市立図書館とよなか国際交流協会が資料の情報を共有し、分担収集をするなど、ともに蔵書の充実を進める。 [146にも掲載しています]
112		団体貸出のPR	市立図書館	継続	関係機関・団体に向けて団体貸出の制度をPRし、冊数や期間など各施設の状況に応じて団体貸出を行う。 [12、43、63をご参照ください]
113		資料の並べ方やサイン(本棚や館内の表示)の見直し	市立図書館	継続	利用者が図書館職員に相談しやすいような雰囲気づくりに努める。資料を利用しやすいよう、サイン(本棚や館内の表示)や資料の並べ方を見直す。
114		多言語の利用案内やサイン(本棚や館内の表示)の作成	市立図書館 国際交流協会 市民団体(しょうないREK)	継続	子ども向けの利用案内やサイン(本棚や館内の表示)などを多言語表記にする。
115		入院中の子どもの読書環境整備	○市立豊中病院 市立図書館	継続	市立豊中病院と市立図書館が連携し、患者用図書室などを充実させ、入院中の子どもの読書環境を整備する。

子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

◆〈全体的な取り組み〉(4ページ)をご参照ください。

子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

市立図書館では録音図書や点字図書を製作するボランティア活動を支援しています。今後はさらに、障害のある子どもにとって有効な資料の研究を進め、その製作に携わるボランティア活動を支援します。また、絵本やおはなしを楽しむ機会が少ない子どもたちのためにおはなし会を行うボランティアなど、障害のある子どもや外国人の子どもの読書に関わるボランティア活動の支援を充実させます。

	対象	事業名	関係部局・団体	区分	事業内容
116		ボランティア活動への支援	○市立図書館 ひまわり教育センター	継続	録音図書、点字図書や拡大写本など、障害のある子どもに有効なメディアを研究し、製作に携わるボランティアを育成・支援する。
117		おはなしボランティアへの支援	市立図書館	継続	障害のある子どもや入院中の子ども、外国人の子どもに向けておはなし会を行うボランティアに対して市立図書館が図書資料や情報などを提供する。

子どもに関わる大人への啓発と研修

豊中市では人権講演会などにより、障害のある子どもや外国人の子どもを取り巻く多様な状況などについて、学習する機会を提供しています。今後は、すべての子どもがさらに豊かな読書を体験するために、子どもを取り巻く状況についてや、障害のある子どもに有効な多様な資料について、市民や教職員が理解を深める学習の場を広げます。

	対象	事業名	関係部局・団体	区分	事業内容
118		市民向けの啓発事業の実施	市立図書館 通園施設 支援学校	継続	市民に向けて、障害のある子どもに対して理解を求める取り組みや啓発を行う。
119		職員の研修	通園施設 市立図書館	継続	障害のある子どもや外国人の子どもを取り巻く状況など、多様な子どもの情報を共有できるよう教職員の研修を行う。
120		情報交流と研修	市立図書館	継続	図書館や各施設で行う研修の情報を共有し、研修の機会を広げる。 〔72、157をご参照ください。〕